

令和5年度 山梨県立白根高等学校

第3回 学校運営協議会 議事録

日時：令和6年2月14日（水）14：00～15：30 校長室

1 開会のことば（教頭）

2 校長あいさつ

- ・コロナ後、学校の活動が再開出来て良かった。
- ・部活動等で活躍した生徒が多かった。
- ・進学も決定しつつある
- ・南アルプス署から本校の活動に対して感謝状をいただいた(交通安全、書道部等)。

3 〈 議事 〉 議長は川野会長

①教育活動報告について（資料P1～P4参照）

1 学習支援グループ

- 1-1 前期募集36人内定 後期募集94人の定員が満たせるよう願っている。

2 生徒支援グループ

- 2-1 令和5年度生徒会関連行事 表のとおり実施

2月、3月も表のとおり実施予定

- 2-2 部活動実績

ウェイトリフティング部 全国大会 上位入賞

全国選抜への出場も決定しており、山梨県を代表する活躍を見せている。

様々な部がそれぞれ活躍している。

- 2-3 支援を要する生徒とその対応

各学年に発達障害の傾向が見受けられる生徒が、年々増加傾向にあり本校だけではない。教員の障害をもった生徒への対応に関する資質の向上、教育の評価方法の工夫などが求められておりこれらの研修が必要であり課題であると感じている。

3 進路支援グループ

- 3-1 進路基本方針

土曜講座 長期休業課外 学力テスト 模擬試験 等を行ってきた。

総合的な探求の時間、1年生に関しては発表を見ていただいたとおり。

3-2 令和5年度卒業生進路概況

国公立3名、私立大学38名、就職6名等 資料のとおり

4 学校管理グループ

4-1、4-2 資料のとおり

5 生徒指導グループ

生徒指導の状況

①問題行動 13件と倍増(R4は7件) 深夜徘徊・飲酒・喫煙・無許可アルバイト等
生徒指導の日頃の生徒への指導や教員の導き方について資質の向上も必要

6 情報管理グループ

広報活動

②No.55も卒業式までには発行予定

委員より①

前期試験の希望者が減っているのは、ヴァンフォーレの関係か。

学校

ヴァンフォーレのグラウンドが明野に変わり、ヴァンフォーレの入学希望者はいない。
全体的に甲府の方へ流れていく傾向にある。また、地域の生徒の数が減っている。

委員より②

問題行動とありますが、学年ごとの傾向はあるか。

学校

どの学年にもあるが、3学年が多い。コロナがおさまってきた事もあるのかと感じている。

委員より③

先生の言う事を聞かないなんてことはあるか。

学校

歯向かってくるとか、授業を激しく妨害するようなことはない。

委員より④

主に夜に歩いてて補導されたとかか。

学校

ご家庭の教育力であるとか目が行き届かないということもある。

②学校評価について

p5 学校改善アンケートの生徒分である。本来であれば前回の学校運営協議会でお示しすべきものだが、集計の方法等で技術的問題が発生し今回での報告となった。

2-1、2-2 学校改善アンケート(生徒)、学校改善・点検シート(学校運営協議会委員)ともおおむね良好。学習習慣の定着が課題

2-3 委員の皆様からの評価

領域1 内容のブラッシュアップに努めて欲しい。

領域2 否定的な項目に関しては教職員全体で意見交換等を行い改善への取組みを。

領域3 地域を知り学ぶ取組みを継続して行って欲しい。

領域4 ICTの活用をマンネリにならないよう充実させて欲しい。

普通科と文理コースの違いを明確にし、受験に必要な教科の選択制の導入の検討も必要か。

領域5 生徒指導は全職員が共通理解の上で取り組んでもらいたい。

模擬試験が生徒の実態に合っていないと感じる職員が多いので、模試の実施方法を検討して欲しい。

領域6 コミュニティ・スクールの理念を実現するには、予算や活動を促進するサポートが必要。

女子生徒が入部しやすい部活動の新設も検討してはどうか。

2-4 令和5年度学校評価報告書 (別紙A3) 資料のとおり

委員より①

来年度は、チアリーディング部に教育フォーラムでの発表をぜひお願いしたい。

委員より②

無許可のアルバイトが問題とあるが、どのように許可が出るのか。

学校

アルバイトは、家庭状況や働く場所を考慮して許可している。

③来年度の活動計画について

令和6年度のコミュニティ・スクールとしての取組み

1)総合的な探究の時間「白根プロジェクト」

1 学年:「フィールドデイ」

2 学年:「インターンシップ」など

2) 地域との連携

〈包括連携協定〉〈学校行事公開〉〈防災・防犯・交通連携〉など

委員より①

観光甲子園へいくつかの取組みの中から選抜して参加の予定があるのか。

学校 菊地先生と相談しながら検討していきたい。

委員より②

インターンシップの受け入れ先は十分足りているか。担当教員の負担感はどのような点か。また、先生方の負担感が減っていく方向で調整して欲しい。

学校

受け入れ先は足りている。負担感は、事前の生徒指導の割り当てや調整、当日の出欠の管理までを2学年の進路指導の教員が一人で担っている状況。また1人の教員が平均3事業所に訪問して、生徒の実習状況の把握とお礼の挨拶をしている。インターンシップは勤労体験や地域との連携という意味でも重要と考えている。また、事業所からも好評で続けて欲しいとの要望も多い。負担感の軽減は実施方法の見直しなどをふくめ検討していく。

4 意見交換・懇談

学校 学校の周りの木の状況はどのようであれば良いのか。

委員より①

道路側の木が高くて中が全く見えない もう少し中が見えるようにしてほしい。

高さを整えるにしても安全管理をしながらの作業は経費が高くなりそうだ。

学校

検討してみたい。

委員より②

今回委員を退任するにあたって一言。委員として中に入って色々聞いてみますと、小規模校ながらも歴代の校長先生が頑張ってこられている。人的体制が大変ながらも、できる課題をしっかりとやってこられている。これからの期待が持てそうだ。

5 その他

令和6年度学校運営協議会の予定は資料のとおり 第1回 4月25日(木)

6 閉会に言葉 (事務長)